

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

(Win-Win の関係を大切に、人の為・地域社会の為に貢献し、信頼される会社を目指します)を経営理念とし、脱炭素社会に向けて再生可能エネルギー事業を推進し未来の子供たちの為に美しい環境を残します。又、所有する不動産を活用し、太陽光発電などの再生可能エネルギーの設置に取り組むなど、カーボンニュートラル実現に向けて取り組んでいきます。また、地域の賑わい創出に繋がる事業を積極的に取り入れ、経済活性化に寄与することで地域のお役に立つ存在であり続けます。これらの取り組みを継続・発展させることで、SDGsの実現を目指していきます。

<今期のSDGsに関する重点的な取組, 指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	<p>・太陽光発電所（総出力約4メガ）運営を通じた環境保全に貢献。</p>	<p>2022年 現在の再生可能エネルギー太陽光発電所 4, 201.34KW 2030年 目標は再生可能エネルギー太陽光発電所 10, 000KW</p>	<p>2025年 現在の再生可能エネルギー太陽光発電所 4, 201.34KW 2050年 目標は再生可能エネルギー太陽光発電所 5,500KW</p>
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	<p>・自社は脱炭素経営に取り組んでいます。・不動産事業部ではアパート・マンションの屋根に太陽光パネルを設置・太陽光発電事業部では太陽光発電所(総出力 4.2 メガ)運営・タクシー事業部では全車両をハイブリッド車・ブルーカーボン事業部では藻場造成(藻場は水産資源増養殖と二酸化炭素を吸収する)事業・事務所兼自宅ではスマートPV(太陽光発電・蓄電池・売電システム)を設置しています。 ・地元スポーツ団への支援活動、夏祭り等の地域行事への参加による町おこし支援。 ・タクシー事業部で、公共交通機関の少ない地元の交通手段として貢献。</p>	<p>・2022年11月25日に鹿屋市実行委員会より感謝状を授与。(国体啓発看板の設置及びフリーペーパーへの広告掲載に際して協賛。) ・地域行事やボランティア活動など5つの活動に継続参加。 ・2021年5月M&Aによりタクシー事業開始、2025年までに利用率5割増目標。</p>	<p>・2025年3月5日に鹿屋市よりゼロカーボンシティかのや経営宣言事業所の認定書授与。 ・地域行事やボランティア活動など6つの活動に継続参加。 ・2025年4月4日に鹿屋市と連携して、かのや市乗合ワゴン(串良線)運行開始。2025年の利用率は鹿屋市との連携で利用率5割増加。</p>
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	<p>地元企業とのM&Aを図り、地域活性化することで経済貢献に繋がっています。 年齢を問わない中途採用の実施。</p>	<p>・地元串良繁華街の店舗空室率を10%以下にする。 ・中途採用者2025年までの目標3名採用。</p>	<p>・地元串良繁華街の店舗空室率を10%以下達成。 ・中途採用者2025年までに2名採用。</p>

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

<ul style="list-style-type: none"> ・環境は太陽光発電所の新設が難しくなりました。今後は既存施設の維持管理の徹底。破損したパネルは発電効率が良くなったパネルと交換する事で発電量の 2050 年 3 割増加予定。 ・社会は目標達成。 ・経済は空室率の達成。中途採用者 2030 年までに達成予定。

- ・ SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期の SDGs 達成に向けての重点的な取組, 及び指標>

三側面	SDGs に関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	日本近海での漁獲量は 2050 年頃にはほぼゼロになるペースで減っています。藻場造成は魚の産卵場所や稚魚の生息域となるほか、二酸化炭素を吸収します。藻場造成の必要性およびリーフボール藻礁の認知度向上のため自治体広告。(鹿屋市他 14 市町村) https://www.big-advance.site/c/184/1250/info/detail/7	2025 年 現在のリーフボール藻礁の設置 0 基 2030 年 目標はリーフボール藻礁の設置 30 基,
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	タクシー事業部で、公共交通機関の少ない地域の交通手段として貢献。	鹿屋市と連携して、かのや市乗合ワゴン(串良線)運行により、2030 年までに利用率 2 割増目標。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	年齢を問わない中途採用の実施。	中途採用者 2030 年までの目標 3 名採用。

- ・ 「SDGs に関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・ 「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

<p>企業活動を通じて地域社会に貢献するため、①地元スポーツ団との協働。②自治会、自治体の地域行事の参画(夏祭り等の参加による町おこし支援など)。③鹿屋市と連携して、かのや市乗合ワゴン(串良線)運行。④(一社)マリンハビタット壱岐と連携して、リーフボール藻礁による藻場造成事業。</p>

- ・ 「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。